

「ふね遺産」(応募様式) : A4 一枚に収め、それ以上は別途資料添付して下さい。

No.(*)	内容	備考
1. 対象物・資料の名称・所属または所有者	国登録有形文化財「雲鷹丸」～>> 現存する最古の国産鋼船で、水産講習所の練習船。大型蟹工船の先駆けでもあり、漁具の改良や人材育成など漁業の発展に貢献した。～ 国立大学法人東京海洋大学	
2. 対象物の作成・存在時期	明治 42 (1909) 年 5 月に大阪鉄工所 (現 日立造船) 桜島工場で 2 代目の練習船として建造されました。鋼製補助機関付帆装練習船で、総トン数 444 トン、船長 41.2m、幅 8.5m、速力 12.5 ノット、最大搭載人数は 81 名である。昭和 37 (1962) 年に東京水産大学創立 70 周年記念行事の一環として、現在の場所へ移設されました。平成 10(1988)年 12 月 11 日に登録有形文化財 (登録番号 : 第 13-0042 号) に登録される。	
3. 現状 (写真添付)		
4. ふね遺産認定基準の該当項目(**)	<p>【認定対象】</p> <p>(1)人や物資を輸送する船舶のみならず、作業船、艦艇、実験船、調査船、海洋構造物などを含む浮体構造物全般</p> <p>【認定基準】</p> <p>(7)ふね関連 技術と社会・文化の関係上重要な、初めて、または最古のもの</p>	
5. 歴史的・工学技術的意義	<p>明治 42 (1909) 年 5 月に大阪鉄工所 (現 日立造船) 桜島工場で建造された鋼製補助機関付帆装練習船です。建造にあたっては、捕鯨実習ができ、他の遠洋漁業も行えることが条件とされ、日本における漁労、漁具の改良指導、漁場の開発、人材の養成に大きく貢献しました。世界で初めて船上でのカニ缶詰製造に成功し、大型蟹工船の先駆けとなった船でもあり、3 本マストのバーク型米国式捕鯨船では現存する最後の船でもあります。昭和 4 (1929) 年に引退するまでの約 20 年間で 36 回の航海を行い、約 600 人の実習生が乗船しました。昭和 37 年に現在地に移設され、平成 10 年に有形文化財に登録されました。</p>	
6. 参考資料・文献 (本表に収まらない場合は別途添付する)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京水産大学創立七十周年記念会 (1961) 『東京水産大学七十年史』</li> <li>・ 東京水産大学百年史編集委員会編 (1981) 『東京水産大学百年史』</li> <li>・ 楽水会 (2013) 「雲鷹丸現状と保存」 『楽水』 No.844.pp4-9</li> <li>・ 文化庁国指定文化財等データベース (平成 30 年 11 月 19 日閲覧) <a href="http://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/maindetails.asp?register_id=101&amp;item_id=0000951">http://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/maindetails.asp?register_id=101&amp;item_id=0000951</a></li> <li>・ 国立科学博物館産業技術史資料データベース (平成 30 年 11 月 19 日閲覧) <a href="http://sts.kahaku.go.jp/sts/detail.php?no=101010141003&amp;c=&amp;y1=&amp;y2=&amp;id=&amp;pref=&amp;city=&amp;org=&amp;word=%E9%9B%B2%E9%B7%B9%E4%B8%B8&amp;p=2">http://sts.kahaku.go.jp/sts/detail.php?no=101010141003&amp;c=&amp;y1=&amp;y2=&amp;id=&amp;pref=&amp;city=&amp;org=&amp;word=%E9%9B%B2%E9%B7%B9%E4%B8%B8&amp;p=2</a></li> <li>・ 東京海洋大学附属図書館デジタルアーカイブ雲鷹丸 <a href="http://lib.s.kaiyodai.ac.jp/library/digital/Unyo-maru/index.html">http://lib.s.kaiyodai.ac.jp/library/digital/Unyo-maru/index.html</a></li> </ul>	

2019 年 3 月 4 日 / 4 月 22 日 : ふね遺産認定実行委員会にて一部修正